BLUE SEA 日本語取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みください。

グラフィカ株式会社

この度は弊社 DISKO「BLUE　SEA」をお買い上げいただきありがとうございます。
はじめに警告・注意事項をよくお読みの上、安全にご使用ください。
なお、この説明書はいつでも見ることのできるところに保管しておいてください。

■表示の意味

	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電気プラグをコンセントから抜け）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

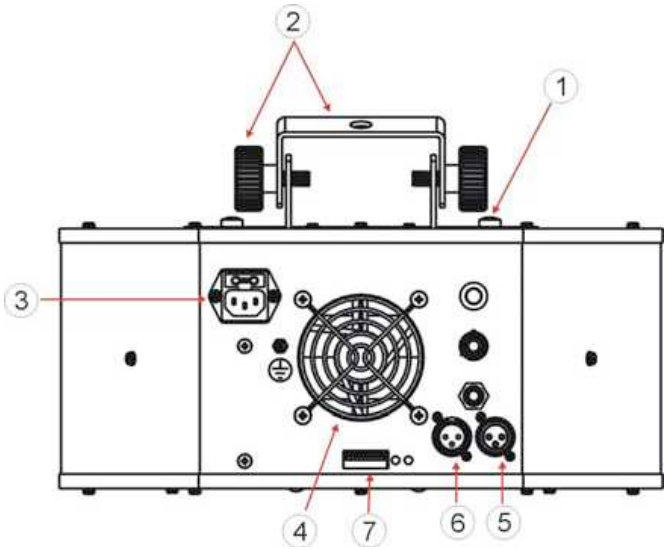
⚠警告

	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。
	万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	この機器のカバーは絶対に外さないでください（ランプカバーを除く）。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。
	この機器を改造しないでください。火災・感電となります。
	本体は激しい発熱を伴う製品です。少なくとも他の物品から 50cm 以上離してお使い下さい。この距離を守らないと火災発生の危険があります。
	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この製品は商業空間向け演出用照明製品です。安全事項を遵守でき、かつ設置に熟練した方のみが行って下さい。

⚠注意

	次のような場所に置かないでください。火災・感電やけがの原因となることがあります。 ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所 ・湿気やほこりの多い場所 ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長時間この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
	灯体を運搬する時には、極力外部からのダメージをさけるため本体着荷時の箱をご使用頂くようお願いいたします。
	ミラー部分やレンズ等は先が尖っており、大変危険です。取扱には十分注意し、とくにお子さまなどが触ることのないようにしてください。
	本体は電源投入で発熱します。十分冷却するには最低でも 1 時間は必要です。灯体の取り外し、ランプ交換および運搬は少なくともこの時間を経過した後で行ってください。特にランプ部分は非常に高熱であるため、この時間が経過した後でも必ず軍手などを使用して、素手で触れないようお願いします。
	本製品は演出用照明機器として開発設計されたものです。長時間に渡る連続使用環境では製品の寿命を著しく損なう恐れがございます。本製品の構成部品の平均寿命は約 1000 時間を目安としております。長くご愛用頂く為に、ご使用になられないときはこまめに電源を切るなどの管理をしてください。

■ 各部の名称



① ランプカバー
② ハンガー
③ 電源インプット
④ 冷却ファン
⑤ DMX 信号出力
⑥ DMX 信号入力
⑦ DIP スイッチ

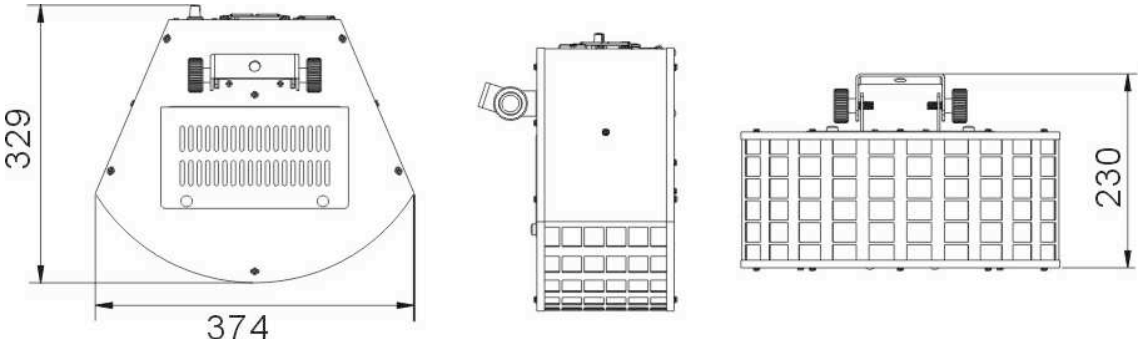
■ 仕様

AC100V 50/60Hz 920W

2 チャンネル（CH1=回転、CH2=ストロボ）

重量 約 6.5kg

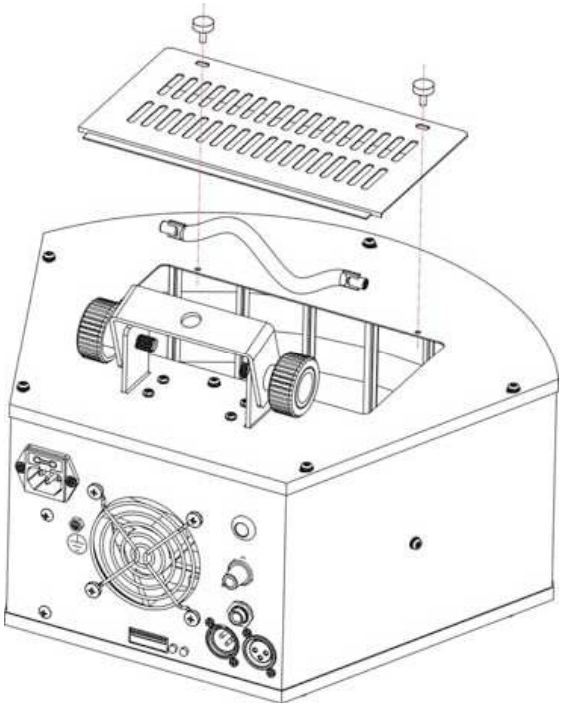
寸法 374×329×230mm



天井に吊って使用する際は振動や落下防止のため、10kg以上の耐荷重クランプを使用ししっかりと固定してください。

■ ランプ（XENPOW　JS120V800W）交換時の注意事項

ランプを交換する際は本体の電源を切り、1 時間以上冷ましてからおこなってください。
本体やランプが熱いうちは絶対に触れないでください。
素手でランプを触らないでください。ランプに汚れが付着する場合があります。



■ コントロール方法

1. マスター/スレーブ

ディジーチェーンでマスター/スレーブ接続が可能です。サウンドアクティブで内蔵プログラムを再生します。
DMX設定の場合、マスター灯体のスタートアドレスは 001（Dip＃1 のみ ON）、スレーブ灯体は 001 以外にセットしてください。

＊インバージョン機能（鏡状反転機能）＊
スレーブ灯体の Dip＃10 を ON にすると「反転」運転となり、マスター灯体とのコントラスト効果が得られます。（マスター灯体の Dip#10 は OFF にしておいてください。）

2. CA-8（簡易コントローラー）

マスター/スレーブモードでのみ動作します。CA-8 を最初の灯体のマイクジャックにつなぐことにより、連結した全ての灯体をコントロールできます。

Stand by	灯体をブラックアウト（シャッターオフ）にし、待機状態にします。	
Function	1. ストロボ（シンクロ） 2. ストロボ（インバージョン機能）	1. 時計回り 2. 反時計周り
Mode	サウンド （LED OFF）	スロー （LED ON）

3. DMX コントローラー

連結した灯体を DMX 制御する場合、Dip スイッチ（＃1 から＃9）でアドレスを設定します。

Dip スイッチ	＃1	＃2	＃3	＃4	＃5	＃6	＃7	＃8	＃9	＃10
値	1	2	4	8	16	32	64	128	256	インバージョン機能

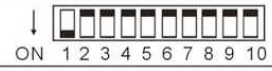
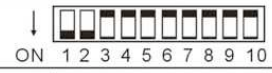
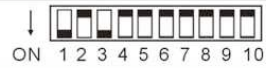
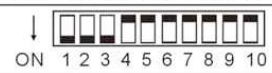
＜例＞

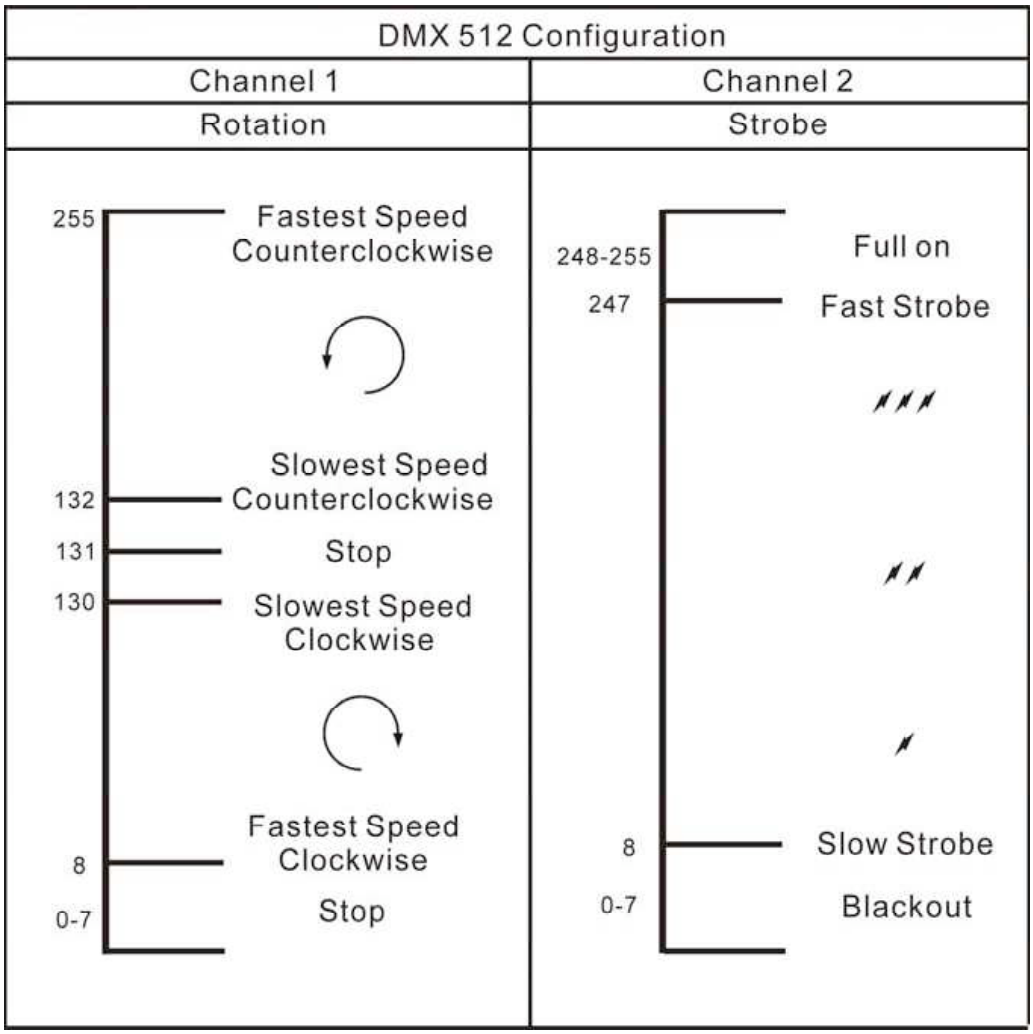
チャンネル 1：Dip＃1 を ON にする（=1）

チャンネル 3：Dip＃1 と＃2 を ON にする（1+2=3）

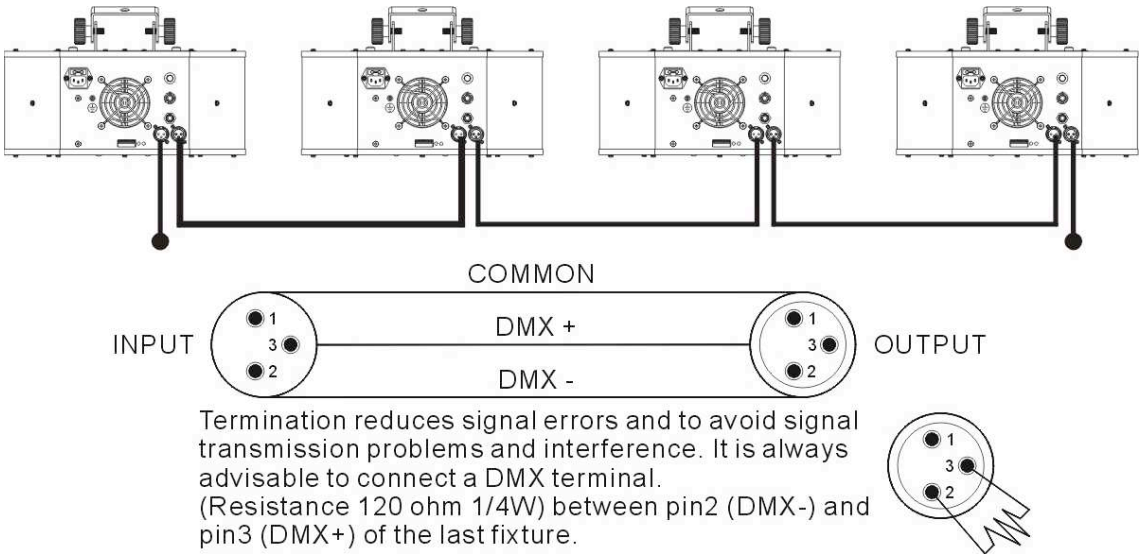
チャンネル 5：Dip＃1 と＃3 を ON にする（1+4=5）

チャンネル 7：Dip＃1 と＃2 と＃3 を ON にする（1+2+4=7）

Channel	Dip switches setting
1	
3	
5	
7	


DMX 512 Configuration
Channel 1
Rotation
Channel 2
Strobe
255
Fastest Speed
Counterclockwise
Slowest Speed
132
Counterclockwise
131
Stop
130
Slowest Speed
Clockwise
Fastest Speed
8
Clockwise
0-7
Stop
248-255
Full on
247
Fast Strobe
8
Slow Strobe
0-7
Blackout

■ DMX 接続



- 5 ピン DMX アウトプットのコントローラーを使用する際は 3 ピンへ変換するアダプターケーブルが必要です。
- 最後の灯体の DMX ケーブルは末端処理が必要です。ピン 2 とピン 3 の間に 120Ω1/4W 抵抗をはんだ固定し、3 ピン XLR プラグに挿し、最後の灯体に接続します。
- XLR プラグでディジーチェーンにする際、2 股ケーブルは使用しないでください。危険です。
- 3 ピン XLR プラグの場合： ピン1＝GRD、ピン2＝DMX マイナス、ピン3＝DMX プラス

■ トラブルシューティング

本製品をお使いいただく上で様々なトラブルを未然に防ぐため、または動きがおかしいなどの不調の際に役立つトピックです。

A. 灯体が動きません。もしくはランプが点灯せず、ファンが動作しません。
   1. 電源のコネクターおよびヒューズをチェックします。
   2. 電源コンセント側からの供給電圧をテスター等で測定します。100V 近辺であれば大丈夫ですが、92V 以下では正常に動作しないことがあります。
   3. 電源 ON 表示の LED が点灯しているかどうかをチェックします。

B. DMX コントローラーに反応しません。
   1. 本体の[DMX]ランプが点灯していますか。点いていない場合は、DMX コネクターとケーブルが適切に接続されているかチェックしてください。
   2. [DMX]ランプが点灯していながらチャンネルを受信しない場合は、アドレス設定の相違が考えられます。お使いのコンソール上のチャンネル（アドレス）が正しいか確認してください。
   3. 別の DMX コントローラーを使用してみてください。症状が改善されることがあります。
   4. DMX ケーブルの配線の近くに高圧電流のケーブルがないか、また、ケーブルはマイクケーブルなどではなく専用の DMX ケーブル（110Ω）であるかどうかを確認してください。

C. 接続した複数のうち、途中の灯体が簡易コントローラーCA-8（別売）に反応しません。
   1. DMX ケーブルの断線が考えられます。断線チェックは、単に本体のマスター/スレーブモード表示が点灯しているかどうかで確認することが可能です。

D. 音に反応しません。
   1. 本体が「DMX 信号を受信していないこと」「DMX モードにないこと」を確認してください。（DMX モードにある場合、いかなる音声信号も受信しません）
   2. 内蔵マイク付近を軽くたたいて、マイクが正常かどうかチェックしてください。

E. ある特定のチャンネルが動作しません。
   1. ステッピングモーター部分やこのモーターを動作するのに必要なドライバーIC、メイン基板の損傷が考えられます。残念ながら、この場合はサービススポットによる修理が必要です。

■ メンテナンス

日常のお手入れは固くしぼった濡れ布巾を用いて（もちろん電源プラグはコンセントから抜いて）行なうようにしてください。アルコールや有機性物質等を含んだクリーナーは使用しないでください。本体のレンズはフォグマシンの液体等が非常に付着しやすい環境にあるため、外側は 20 日置き、内側は 30-60 日置きの割合で清掃するようにしてください。

■ 保証とアフターサービス

この商品には保証書を別途添付しております。よくお読みの上、大切に保管してください。
保証期間経過後の修理はお客様のご要望により、有料修理いたします。

グラフィカ株式会社
本社 〒703-8265 岡山市中区倉田295-15
TEL 086-239-0010 FAX 086-239-0020
www.graphica.ne.jp

お客様および設置工事業者の方へ

本カタログ記載の製品は、すべて商業空間や舞台、放送スタジオ等での使用を想定して生産された業務用演出照機器です。これらの機器は一般的な照明器具とは異なり、設置や運用に当たっては十分な配慮と理解が必要です。

また、これらの製品は法律･規格を遵守し、品質の確保に努めておりますが、適正な環境、施工、運用を行うことによりその機能や安全性が生かされ、また長寿命化が期待できます。安全かつ末永く製品をお使いいただくため、取扱説明書とともに下記記載事項をよくお読みください。

演出用照明機器の寿命について

演出用照明機器は一般の演出照明機器と異なり、複雑な回路で構成された電子回路が多用されており、かつ放電管(メタルハライドランプ)等を使用した高熱を発生する製品がほとんどであり、使用環境や使用の頻度によって大きく異なります。当社では、本カタログに記載されている製品の耐用年限について以下の基準を設けています。

用語	用語の意味	年限
部品交換時期	劣化が進み、故障率が増加し始める段階。点検を受け、必要に応じ劣化部品や故障部品を交換することが推奨される時期。	半年～2 年
オーバーホール時期	劣化が著しく、故障が頻繁に発生する段階。点検を受け、全分解による清掃と保守パーツ交換が必要とされる時期。	1 年～3 年
耐用限度	劣化が激しく、根本的な修復が難しくなる段階。安全のために全数交換を必要とする年限。	5 年～10 年

備考

1.上記記載の年数は一般的な商業空間での使用環境による想定値です。

2. アミューズメントホール等タバコ等の粉塵が多い環境や屋外、高温/低温/多湿地域においてはこの値より短くなります。

演出用照明機器の設置や取付(施工)について

■使用環境について

〇機器の設置環境には十分な配慮が必要です。高温、多湿、油煙等「精密電子機器」にそぐわない環境でのご使用はお控えください。また、埃が多い環境や電源ノイズが発生するような環境ではお使いにならないでください。

〇海岸部（海塩粒子が付着する場所)や温泉などでは、これらの機器を使用しないでください。機器の変色や錆の原因になるだけでなく、機器の変形や感電･火災の原因となります。

〇機器本体にファンを内蔵している製品については、ファンの吹き出し口をふさがないでください。

■設置や取付の方法について

〇電気工事は、電気工事店（有資格者)にお任せください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

〇演出照明機器は定期的なメンテナンスが必要です。設置の際はあらかじめメンテナンスが安易に行えるよう配慮し、できるだけ高所への取り付けはお控えください。また放熱等に十分配慮し、必要に応じて風通し用の開口をとるようにしてください。

〇製品を固定する際は落下等の事故をあらかじめ想定し、指定のクランプ、ハンガー等を用いて緩みのないようしっかりと固定してください。天井等に吊り下げる場合は本体重量の 5 倍以上の耐荷重をもつ安全ワイヤーをご使用ください。

〇レーザーエフェクト等を設置する場合には、レーザー光線の出口位置から観客等の距離をできるだけ離してください。また、観客等がレーザー光線を直接目に入れないよう本体角度を調節してください。

〇燃えやすいものの近くに設置しないでください。また、設置位置の関係でカーテン等可燃物がある場合は、少なくともそれらの位置より 50Cm 以上本体を離し、かつ当該可燃物に向けて発光させないでください。

〇本カタログ記載のほとんどの製品についてアース工事が必要です。電気設備技術基準に従って確実に行ってください。アースが不完全な場合は製品の故障につながるだけでなく、感電の恐れがあり危険です。

〇工事が完了するまでは必ず電源をお切りください。また、ランプを交換するときも必ず電源をお切りください。

〇電源電圧 AC100V のとき、回路の絶縁抵抗が 1MΩ 以上必要です。

〇製品および部品の改造はしないでください。弊社動作保証の対象から除外されるだけでなく、感電や火災の原因となり危険です。

〇調光によって動作する機器以外は調光回路（ディマー等)に接続しないでください。

■ランプに関する事項

〇ランプにはそれぞれ違う寿命があります。設置日と一日あたりの動作時間を記録しておき、交換のタイミングを予想してください。また、メタルハライドランプについては既定寿命の 70%程度から交換時期の対象となります。ランプ表面がにごっていたり、黒ずんでいる場合には交換をお願いします。

〇ランプの交換に当たっては、必ず機器本体の電源を切ってください。〇ランプに塗料等を塗らないでください。ランプが加熱し、破損によるケガの原因となることがあります。

〇点灯中および消灯直後にはランプに触れないでください。

〇ランプに触れる際にはグローブ等を用い、直接手で触れないでください。手などに付着している油脂により過熱し、破裂等の危険があります。

〇交換の際は、ランプをソケットに確実に取り付け、さらに作業の確認をお願いします。

■お手入れに関して

〇機器にファンを有するものやモータ動作をなすもの（インテリジェントライティング、PC 等） は最低 1 ヶ月に 1 度以上の点検および清掃が必要です。点検と清掃を怠ると埃の混入による動作不良や火災等の原因となります。

〇アミューズメントホールや多数の往来がある空間で使用している場合は、1 ヶ月に数回ファン部分等をブローで清掃してください。

〇本体を清掃する場合は有機溶剤を使用せず、乾いた布にアルコールを染ませたものあるいは中性洗剤を用いてで行ってください。その際、水等を機器本体にかけないでください。